

出来事（2017年4月）

1. 新規の食品添加物の指定

4月の新規指定はありません。

アルミニウム含有食品添加物4品目についての食品安全委員会の審議は、厚生労働省からの資料提出待ちとなっており、状況は変わっていません。

- ・アルミノケイ酸ナトリウム（固結防止剤）
- ・ケイ酸アルミニウムカルシウム（固結防止剤）
- ・酸性リン酸アルミニウムナトリウム（膨張剤） ・カルミン（着色剤）

2. 規格基準の改正

アルミニウムの摂取量の低減化のために、硫酸アルミニウムカリウム（カリ明礬）及び硫酸アルミニウムアンモニウム（アンモニウム明礬）のパン及び菓子類への使用量を0.1g/kg以下に制限するための使用基準の改正が食品安全委員会で検討されています。4月5日の添加物専門調査会では継続審議とされました。

また、昨年10月6日に指定された過酢酸製剤関係の過酢酸と過酢酸製剤の2品目の規格基準に誤り（「氷酢酸」とすべきところを「酢酸」とした。）があったようで、急遽改正手続きが進められています。

* 指定要請書の間違い（添付資料は氷酢酸で正しい）に関係者は気付かなかったのか？

3. 第9版添加物公定書

3月10日の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食品添加物調査会です承されました。

3月8日の衆議院農林水産委員会で厚労省の食品安全部長は、「第9版に収載されない既存添加物は、152品目である」旨の回答をしました。

* 「152品目との回答は間違い。」との指摘もあります。

4. 遺伝子組換え食品添加物

安全性審査が終了し公表された遺伝子組換え添加物（25品目）、安全性審査が終了した遺伝子組換え添加物リスト（73品目）、安全性審査継続中の遺伝子組換え添加物（7品目）（2017年3月21日現在）および制度について、今月の改正あるいは変更はありません。

5. 機能性表示食品の届出

消費者庁のホームページ「機能性表示食品に関する情報」に掲載されている884品目を、消費者庁の区分に従って集計すると以下のようになります。

2015年度

サプリメント	その他加工食品	生鮮食品	合計	撤回
145品目	162品目	3品目	310品目	6品目

<http://www.caa.go.jp/foods/index23.html>

2016年度（2017年4月28日現在）

サプリメント	その他加工食品	生鮮食品	合計	撤回
248品目	322品目	4品目	574品目	0品目

<https://www.fld.caa.go.jp/caaks/cssc01/>

6. 原料原産地表示

加工食品の原料原産地表示制度について、「食品表示基準の一部を改正する内閣府令（案）」について、パブコメも完了し、消費者委員会の審議が始まりました。パブコメでは、反対意見が圧倒的に多いようです。

7. 食品の放射能問題

（原子力災害対策特別措置法第20条第2項の規定に基づく食品の出荷制限）

- ① 福島県、青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の特定の動植物の出荷が制限されている(4月27日現在)。
- ② 今月は、新たな出荷制限等はありませんでした。

8. EFSA アラビアガム（E414）で再評価

4月6日付けのジャーナルで、従来のADI「特定せず」を変更する必要はなく、一般人への暴露評価から安全上の懸念はないとしました。

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2903/j.efsa.2017.4741/epdf>

9. オーストラリアは、米国と同等の食品安全システムとFDAが認識

4月19日のニュースリリースで、米国FDAが、オーストラリアは米国と同等の食品安全システムとの認識を示しました。2012年：ニュージーランド、2016年：カナダ、今回：オーストラリア。この3か国のみです。

<https://www.fda.gov/Food/NewsEvents/ConstituentUpdates/ucm553382.htm>

10. WHOのIARC癌ハザード機関：改革できるか、廃止すべきか？

4月18日に公表された「Genetic Literacy Project」で、ネブラスカ大学医療センターのSamuel Cohen教授等は、WHOのIARCのモノグラフを改革し21世紀のものにする、それができないのであれば廃止すべきだと主張しています。

<https://www.geneticliteracyproject.org/2017/04/18/whos-iarc-cancer-hazard-agency-can-reformed-abolished/>

11. EFSA リボフラビン食事摂取基準、意見募集

成人 ARs（平均必要量）：1.3mg/日 PRIs（集団別参照摂取量）：1.6mg/日

乳児（7～11ヵ月）の目安量 AI：1.3mg/日

子ども（1～17歳）ARs：0.5～1.4mg/日 PRIs：0.6～1.6mg/日

妊婦・授乳婦 PRIs : 1.9~2.0mg/日

パブコメ期限 : 5月28日

<http://www.efsa.europa.eu/en/press/news/170421-0>

12. 中国の化学産業における環境規制の影響

労働集約型の製造業から脱却し、高付加価値の産業とグリーンが調和した「新常态」を目指し、環境対策の重点は、大企業から中小企業に移っています。中には、石油化学、製薬、印刷、塗装など環境汚染に繋がる業種を過疎地域に移転させるなどの対策もあり、ゼロエミッションを唱えるところも出てきているとのことです。

こうした中で、供給量の大幅な削減や一時的な停止、価格の改定も予想されます。

(参考) <https://www5.jetro.go.jp/newsletter/shanghai/2016/2016/1109/1.pdf>

13. 輸入食品の違反事例

- ・株式会社カーギルジャパンおよび伊藤忠食糧株式会社が、エクアドルあるいはベネズエラから輸入した「生鮮カカオ豆」あるいは「カカオ豆：生鮮・冷蔵」の命令検査で、2,4-Dが一律基準を超えて検出されたとして、廃棄、積戻し等が指示されました。
- ・有限会社天草フーズおよび海善美通商株式会社が中国から輸入した「生あさり」の命令検査で、プロメトリンが一律基準を超えて検出されたとして、廃棄、積戻し等が指示されました。

*プロメトリン：トリアジン系除草剤

- ・株式会社エッセンスがスペインから輸入した「漬け物：オリーブ」の行政検査で、指定外添加物（グアニル酸二カリウム、イノシン酸二カリウム）検出による成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。

(作成：2017年4月29日)